

Inspiration Camp in Aomori 2024

第12回 未来ひらめき創造塾

実施レポート

青森県 交通・地域社会部 地域交通・連携課

開催概要

【目的】

青森県内の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

【参加者】

青森県内の中学生 43名
(男女別内訳 男子22名、女子21名)
(学年別内訳 3年生5名、2年生18名、1年生20名)

【開催日時】

令和6年7月28日(日)～31日(水)

【会場】

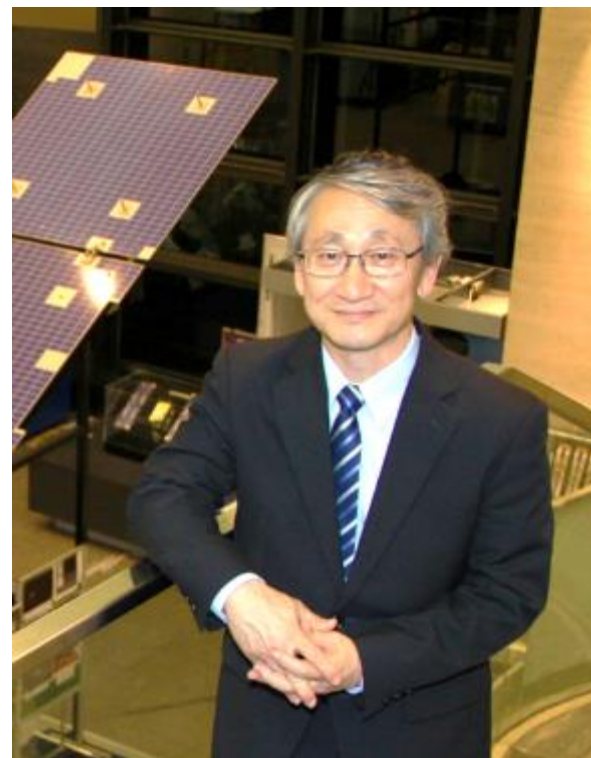
青森県総合社会教育センター(青森市荒川藤戸119-7)
青森県観光物産館アスパム(青森県青森市安方1丁目1-40)
アピオあおもり(青森市中央3-17-1)
新町キューブ(青森市新町2-6-25)
青森県総合学校教育センター(青森市大字大矢沢字野田 80-2) ※宿泊

【参加費】

13,000円(宿泊費、食費、保険料など)

【塾長】

オーストラリア国立大学大学院教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)
「はやぶさ」プロジェクトマネージャ 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めたほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務め、2021年3月JAXA退官。現在はオーストラリア国立大学大学院教授。

全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2024 (第12回未来ひらめき創造塾) カリキュラム

| | | 7:00 | 8:00 | 9:00 | 10:00 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 | 19:00 | 20:00 | 21:00 | 22:00 | 22:30 | | |
|---|----------|---------------|---------|-------------------|--|---|------------------------------|--|--------------------|-------|--------------------------|---------------------|---|-------------------------------------|------------|-------------------|-----------------------|--|------------|-------|
| 1 | 7/28 (日) | | | | | | プログラム | 受付 | 開塾式 13:00-13:40 | 準備 | ウォーミングアップ 13:50-14:50 | 休憩 | ■チャレンジプロジェクト1 ＜新しい橋づくり＞ 15:00-16:40 | バス移動 16:40-17:20 | チェックイン | 夕食 17:30-18:30 | 川口塾長講話 18:30-20:00 | チャレンジプロジェクトについて ＜事前説明＞ 20:00-21:00 | 入浴 自由時間 | 消灯・就寝 |
| | | 青森県総合社会教育センター | | | | | | | | | | | 青森県総合学校教育センター合宿所 | | | | | | | |
| 2 | 7/29 (月) | 起床 | 朝食・部屋清掃 | バス移動 8:30-9:00 | 準備 | ◇塾生と講師のひらめきゼミナール1 ＜DX編＞ だれもが不自由なく暮らせる青森へ 9:30-12:30 | 昼食・休憩 (弁当) 12:30-13:30 | ◇塾生と講師のひらめきゼミナール2 ＜防災編＞ 災害から命を守る行動を考えよう 13:30-16:50 | | | | バス移動 16:50-17:30 | 夕食 17:30-18:30 | チャレンジプロジェクト2 事前準備 18:30-20:30 | 入浴 自由時間 | 消灯・就寝 | | | | |
| | | 学舎合宿所 | | | 青森県観光物産館アスパム | | | | | | | | | | | 青森県総合学校教育センター合宿所 | | | | |
| 3 | 7/30 (火) | 起床 | 朝食・部屋清掃 | バス移動 8:30-9:00 | 準備 | ◇塾生と講師のひらめきゼミナール3 ＜グローバル編＞ 青森のぶっ飛んだツアー開発プログラム 9:30-12:30 | 昼食・休憩 (弁当) 12:30-13:30 | ■チャレンジプロジェクト2 ＜日本から若者がいなくなる？＞ 大討論会 13:30-15:30 | | 準備 | #あおばな 15:50-16:50 | バス移動 16:50-17:30 | 夕食 17:30-18:30 | チャレンジプロジェクト3 作戦会議 18:30-20:30 | 入浴 自由時間 | 消灯・就寝 | | | | |
| | | 学舎合宿所 | | | アピオあおもり | | | | | | | | 青森県総合学校教育センター合宿所 | | | | | | | |
| 4 | 7/31 (水) | 起床 | 朝食・部屋清掃 | バス移動 8:30-9:00 | ■チャレンジプロジェクト3 ＜青森ファン拡大作戦＞ フィールドワーク 9:00-12:00 | | | 成果発表 12:00-12:30 | 閉塾式 12:30-13:00 | | | | | | | | | | | |
| | | 学舎合宿所 | | | 青森駅前またはベイエリア | | | | 新町キューブ | | | | | | | | | | | |

会場位置図



1

開塾式・1日目
青森県総合社会教育センター
(青森市荒川藤戸 1 1 9 - 7)

2

2日目
青森県観光物産館アスパム
(青森県青森市安方 1 丁目 1 - 4 0)

3

3日目
アピオあおもり
(青森市中央 3 - 1 7 - 1)

4

4日目・閉塾式
新町キューブ
(青森市新町 2 - 6 - 2 5)

5

宿泊施設
青森県総合学校教育センター
(青森市大字大矢沢字野田 80-2)

スタッフ

【運営】

| 役割 | 氏名 | 所属等 |
|-----------|--------|---|
| 塾長 | 川口 淳一郎 | オーストラリア国立大学大学院教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)「はやぶさ」プロジェクトマネージャ |
| 事務局 | 玉熊 留美 | 青森県 地域交通・連携課 |
| 事務局 | 太田 朗史 | 青森県 地域交通・連携課 |
| 事務局 | 奈良 文生 | 青森県 地域交通・連携課 |
| 事務局 | 舘山 大輔 | 青森県 地域交通・連携課 |
| 事務局(運営委託) | 木山 宏一 | サンブラッソATV |
| 事務局(運営委託) | 外崎 禎子 | サンブラッソATV |
| 事務局(運営委託) | 岡田 滋 | サンブラッソATV |
| 事務局(運営委託) | 工藤 世一 | 水産・海洋コーディネーター |

【講師等】

| 役割 | 氏名 | 所属等 |
|-------------------|--------------|-----------------------------------|
| <グローバル編>講師 | 菊池 昌子 | 市民による国際協力実行委員会 |
| | 斎藤 誠子 | 一般社団法人青森市国際交流協会 |
| | 金川 利江子 | 青森中央学院大学 |
| | 風晴 彩雅 | 青森中央学院大学 |
| <グローバル編>ゲストティーチャー | 留学生の皆さん | 青森中央学院大学(中国2名、ベトナム1名、マレーシア1名の計4名) |
| | 陳 ケイ | 国際交流員(台湾) |
| | ペ ジュヨン | 国際交流員(韓国) |
| | ベンジャミン バーガス | 国際交流員(アメリカ) |
| | マシュー リー | 国際交流員(アメリカ) |
| | タランディーブジュティー | ALT(イギリス) |
| | コナー ボース | ALT(アイルランド) |
| | マリー ラビオレット | ALT(モーリシャス共和国) |
| | エレデネ オチル | 日本語学園(モンゴル) |
| <DX編>講師 | 成田 英司 | 青森県 DX推進課 暮らし・行政DXグループ GM |
| | 金 華子 | 青森県 DX推進課 暮らし・行政DXグループ 主事 |
| <防災編>講師 | 奈良 元気 | 青森地域広域事務組合 消防本部予防課 |
| | 神 紀元 | 青森地域広域事務組合 中央消防署 救急係 |
| | 増村 卓也 | 青森地域広域事務組合 中央消防署 救助係 |

【1日目】 7月28日(日)13:00~13:40

【出席者】

塾生43名

塾生の保護者

川口塾長

奥田副知事

奥田交通・地域社会部次長

角田地域交通・連携課長

【場所】

青森県総合社会教育センター

2階大研修室

【次第】

開会

塾生自己紹介

奥田副知事あいさつ

川口塾長あいさつ

記念写真撮影



ウォーミングアップ

【1日目】7月28日(日)13:50~14:50

【趣旨】

居住する地域や学校規模の異なる中学生が集まることから、緊張感を解きほぐすことを第一に考え、3つのゲームを行う。ゲームを通して、緊張を解きほぐすことで心の壁を取り払い、以降のプログラムへの導入を円滑に行う。

【場所】青森県社会教育センター2階大研修室

【内容】

(1) リラックスタイム(最大数当てゲーム)

- ・個人戦で実施
- ・誰も選んでいない最も大きな数字を書いた人が勝ち

(2) コミュニケーションタイム①(サイレントバースデーゲーム)

- ・2グループに分けて実施(1~22、23~43)
- ・言葉を発せず、4月1日~3月31日の順に並ぶ
- ・制限時間内に正しく並んでいたチームが勝ち

(3) コミュニケーションタイム②(ワードウルフ)

- ・8グループに分けて実施(2回)
- ・各グループ1人だけ違う内容のカードを持ち、少数派がバレなければ少数派の勝ち、そうでなければ多数派の勝ち

【塾生の声】

- ◆騙されることなく少数派を見つけることができたワードウルフが楽しかった。
- ◆ジェスチャーや視線だけのコミュニケーションは特別感があり楽しかった。
- ◆最大数当てでは、他の人がどんな数にするのかを考えるゲームで、予想とひらめきを交え、とても面白かった。他のゲームも、心をひとつにする要素があり楽しかった。



チャレンジプロジェクト1 <新しい橋づくり>

【1日目】7月28日(日)15:00~16:40

【趣旨】

指定された材料のみを用いて創造性を養い、他者の意見を受け入れながら協働する

【場所】青森県総合社会教育センター2階大研修室

【条件】

はさみやテープなど、素材以外の道具を使わずに自立した橋脚の無い橋を作る。掛けることができた橋の長さを計測

【スケジュール】

前半課題説明(5分)

グループ協議(5分)

実験、計測(25分)

休憩(10分)

後半課題説明(5分)

グループ協議(5分)

実験、計測(25分)

事例紹介(15分)

表彰(5分) ※前半と後半それぞれの最大値の和で決定

【塾生の声】

◆他の人の意見や考えを聞き、橋を長く丈夫にすることができた。自分には無い発想だったので、人の意見や考えを取り入れることによって自分だけでは思いつかない方法が生まれたり実現できるという事が分かった。



【1日目】7月28日(日) 18:30~20:00

【趣旨】

川口塾長の講話を通して、塾生がこの塾の趣旨を再確認するとともに、塾長との交流を図る。

【場所】青森県総合学校教育センター中研修室

【内容】

- (1) 川口塾長からの講話(70分)
- (2) 感想・質問タイム(20分)

【塾生の声】

- ◆宇宙や海の生物についての話を聞くことができ、とても面白かった。
- ◆これからの世界を宇宙の謎と関連付けて、どのようなことを考えて日常生活を送らなければいけないのかを話してくれた内容は、とても面白かった。
- ◆自分が思いつかなかったような考え方をしており、「やれる理由をみつけて挑戦しない限り、成果は得られない」という言葉が響き、この言葉を胸に勇気をもって挑戦し続けようと思った。
- ◆何事もチャレンジすること、やってみないとわからないことなど、ひらめきの原動力になるような言葉をいただき、これからのスローガンにしていこうと思った。
- ◆宇宙の話などとても興味深く、楽しい時間であった。



【2日目】7月29日(月) 9:30~12:30

【趣旨】

いくつかの社会的問題や法改正、過疎化による公共交通網の減少などに起因する課題に対し、論理的に考察する方法、協働による解決方法を経験し、最適解を探究する姿勢を身につける。

【場所】青森県観光物産館アスパム 5階 あすなろ

【講師】青森県 総合政策部 DX推進課

【内容】

だれもが不自由なく暮らせる方法(交通、物流の新たなモデルを創造する)をテーマに討論会を実施する。

<課題>

(1) 買い物弱者について (2) 熊の被害について

【塾生の声】

- ◆ディスカッションを通して、自分にはなかった意見を見つけることができ、たくさんのアイデアが出てまとめきれないほどでした。
- ◆買い物弱者では、改善だけでなく、その改善のメリット、デメリットについて考え、一つのアイデアに意見を追加し、グループで協力して考えることができ、楽しい思い出となった。
- ◆議題について様々な視点から物事を考え、各々が考えたことをまとめ相手に伝えるという行為は、社会で必須になると考えていました。第三者が疑問に思ったことや意見を取り入れることで、問題が起きる前に対処できるということも学べ、ディスカッションの能力を今後も伸ばしていきたい。
- ◆自分たちの意見と相手の意見の相違点などについて理解し、相手の意見を取り入れることでより良い答えを導くことができた。



【2日目】7月29日(月) 13:30~16:50

【趣旨】

自分事として災害をとらえ、地震発生後の対処についてシミュレーションを行い、臨機応変に対応するスキルを創造し、実験することで日頃の備えや意識の重要性を認識する。

【場所】青森県観光物産館アスパム 5階 あすなろ

【講師】

青森地域広域事務組合 消防本部予防課 広報調査チーム

【内容】

(1) 処置搬送

地震発生時に、けがをして動けなくなった人(頭から出血し足が骨折している)を近くの避難所まで連れて行きたいが、どのようにして運んだら良いか。

(2) 重量物移動

目の前に崩れた壁等の下敷きになっている人がいる。この人を助け出すことはできるか。

【塾生の声】

- ◆地震が来た時の危険性を考え、いつ災害が起きても、すぐに避難することや、人助けができるように頑張ろうと思えた。
- ◆瓦礫などの下敷きになり怪我をしている人を救助するために、どのように助けるかを話し合い、考えた作戦を実験で確かめた。ボールを使い、てこの原理を利用して重量物を持ち上げることができた。
- ◆最近、災害が多く身近な話題であったため印象が強く、身の回りにありそうなもので瓦礫が撤去でき、負傷者の搬送の場面では、ただ運ぶだけではなく、負傷者のことを考え安定して運ばなければならないところが難しく、最終的には成功して良かった。



【3日目】 7月30日(火) 9:30~12:30

【趣旨】

異なる文化や価値観を受け入れながら、論理的かつ客観的な考え方(クリティカルシンキング)を学ぶことを目的とする。また、「青森のぶっ飛んだツアー」を考えることで、塾生の創造力と協働能力を高め、ディスカッションを通じ、相互理解とコミュニケーションを深めることを目的とし、その際、クリティカルシンキング力を用いて、よりよいアイデアを創造する。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【講師】

市民による国際協力実行委員会 菊池 昌子 氏
(一社)青森市国際交流協会 斎藤 誠子 氏
青森中央学院大学国際交流課 金川利江子 氏、風晴 彩雅 氏
ゲストティーチャー12名

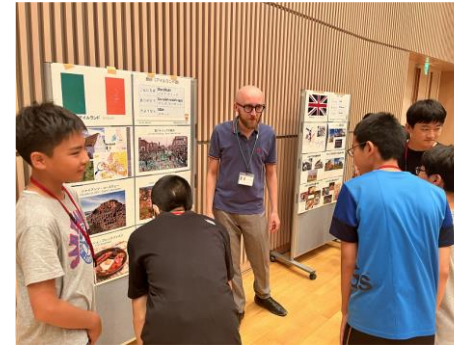
【内容】

- (1) 見えるアンケート 他(20分)
- (2) クリティカルシンキング力を鍛える!(55分)
- (3) 休憩 兼 パネルセッション(15分)
- (4) 青森のぶっ飛んだツアーを開発(90分)

【塾生の声】

◆普段、外国人とコミュニケーションをとることが少ないので、国や地域、言葉、生活、文化の違いなどたくさん聞くことができ、自分の視野が広がった。

◆ゲストティーチャーの先生たちと交流したことが非常に印象に残っている。たった1枚の写真に対しても様々な意見があり、海外の文化を知るきっかけにもなった。また、ツアー考案も、流行っているものと有名なものを組み合わせ、今までに見たことも聞いたこともないものを意識して、話し合いを進めることができた。



【3日目】7月30日(火) 13:30~16:50

【趣旨】

日本が抱える課題のひとつをテーマとして討論会を行い、その課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成する。

【場所】アピオあおもり イベントホール

【内容】

「日本に若者がいなくなる？」をテーマとし、大討論会を行い、討論内容を踏まえた上で自分たちの考えをまとめ、知事との意見交換を行う。

【日程】

最終準備(30分)

大討論会(60分)

休憩(10分)

意見交換資料作成(20分)

会場準備(20分)

#あおばな(50分)

記念写真撮影(10分)

【塾生の声】

- ◆グループでの話し合いが進まず、どうなることかと思ったがなんとかまとめることができた。
- ◆日本の未来について深く考えることができ、知事と意見交換できたことも印象に残った。普段の授業で聞くことはあったが、課題について深く考え、他の人と意見交換し討論することができた。
- ◆問題点をはっきりさせることに苦労したが、問題点を共有した後は、いくつも解決策を挙げていくことができた。問題点から解決策までの道筋を、うまく知事に伝えることができなかつたことが悔やまれる。順序だてて説明ができるように努力していきたい。



チャレンジプロジェクト3 <青森ファン拡大作戦>

【4日目】：7月31日(水) 9:00~12:00】

【趣旨】

青森県ファン拡大のテーマに沿ったアイデアを共有し、情報を論理的に考察し、観光客等の興味・関心を沸かせる方策とその準備を協働し進める。

【内容】

青森駅前またはベイエリアで、青森県ファン拡大のために前日タブレットに作成したプレゼンテーションを用いて、フィールドワークを実施する。インバウンドを含む観光客が、プレゼンした内容に対して「訪れたい」をポイント化し、シールの枚数等で評価する。



【塾生の声】

- ◆グループの話し合いをより良いものにし、積極的にコミュニケーションをとるなど、とてもいい経験になったと思う。
- ◆準備する時間が短く、資料の作成が難しかった。なかなか声をこけられなかったが、わざわざスマホの翻訳機能でお礼を言ってくれる外国人の方もいて助けられた。
- ◆青森の魅力を宣伝した時に、ほとんどの人が話をしっかり聞いてくれた。アメリカからの観光客に対応した時に、もっと英語力を身につける必要があると感じた。
- ◆プレゼンさせていただいた人の中には、外国人の方も多くいた。私たちの話す英語は分かりづらかったと思うが、分かろうと真剣になって話を聞いてくれたことが印象に残っている。
- ◆顔も名前も知らない観光客に青森の魅力を伝えることができるか不安だった。スライドを用意したが、伝えることがまとまらず。最初は話しかけることもできなかった。日本語が伝わらない外国人と話すのは初めてで、習っている英語が伝わっているかどうかは分からなかったが、笑顔で聞きながら励ましてもらった。

【4日目】：7月31日(水) 12:30~13:00

【出席者】

- 塾生
- 塾生の保護者
- 川口塾長
- 角田地域交通・連携課長

【場所】新町キューブ グランパレ

【次第】

- 開式
- 修了証交付
- MVPアワードの贈呈
- 川口塾長あいさつ
- 記念写真撮影



宿泊施設での様子（青森県総合学校教育センター）



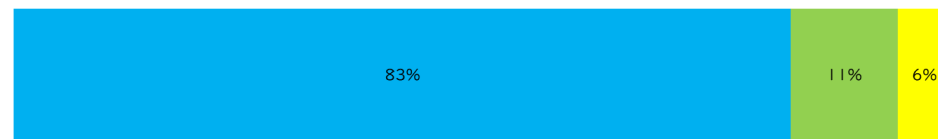
塾生の感想 (事後アンケートより)

有意義な塾でしたか？



■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

塾生同士で交流できましたか？



■ とても満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ とても不満

会場はいかがでしたか？



■ とても満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ とても不満

宿泊施設はいかがでしたか？



■ とても満足 ■ 満足 ■ 普通 ■ 不満 ■ とても不満

この塾を知るきっかけは何でしたか？(複数回答可)



■ チラシを見て(学校から配付された) ■ チラシを見て(学校以外の場所で)
 ■ ホームページを見て ■ 保護者や兄弟(姉妹)からの勧め
 ■ 学校の先生からの勧め ■ 友人から誘われて

来年度も参加したいですか？
(1,2年のみ)



■ ぜひ参加したい ■ できれば参加したい ■ 参加しない

保護者の感想①（事後アンケートより一部抜粋）

■ 県内から集まった同年代の子供たちとディスカッションを通して、楽しみながら交流を深めていき、様々な意見から新たな学びや気づきを得られたと話してくれました。昨年よりも自分の意見を沢山言えるようになったと自信がついたようで、成長を感じました。未来ひらめき創造塾でしかできない学びや経験ができたことに心から感謝しております。

■ 「楽しかったあ〜」の一言で、とても充実した4日間であったことが伝わってきました。通っている学校の友達とは違うため、息子にとってはとても有意義な時間になったようです。この体験を活かして、まだ知らない世界をたくさん見つけてほしいです。参加させていただき、本当にありがとうございました。

■ 初めての参加ということもあり、未経験のことだらけで迷惑をかけないか、一人で大丈夫なのか不安でした。しかし、学校から帰ってくるなり、「これに行きたい」とチラシを見せてくれた気持ちのまま、4日間を終え帰ってきたのを見て、参加することができて良かったと感じました。自分に自信を持たず、人前で意見を伝えることに不安を持っている様子でしたが、様々な人の意見を聞く機会があったことで、少し自信を持てた様子でした。ありがとうございました。

■ 昨年度も参加しており、今まで出会うことのなかった子達と一緒に活動し、家ではない場所で泊まるという経験がとても楽しかったらしく、今年も希望していたので参加させました。この塾に参加したことで、防災や買い物弱者について考えるきっかけになったようです。いざというとき、考えたことがある（やったことがある）かどうかで、行動できるかどうかが変わると思います。良いテーマをありがとうございました。

■ 多くの経験をさせていただき、ありがとうございました。とても楽しく充実した4日間だったと伝えてくれました。まわりの生徒さんの意識の高さにも驚いたようで、自分がディベートの際になかなか発言できなかったことを少々悔やんでいました。次年度もぜひ参加したいと申ししており、それまでに自分自身が多くのことに興味関心を持ち、調べ、自分なりの意見を持てるようになりたいとのことでした。

■ 自分でアイデアを出して人前で発表することや、他の人の意見を踏まえ、どのようにまとめていくかという有意義な体験をさせていただいたと思います。本人もどういう点に注意すべきか、「気づき」があったようですので、今後役立てていければと思います。また、川口先生の話聞いて、物事を捉える視点が広がったようですので、様々な場面で活かしていければと思います。

保護者の感想②（事後アンケートより一部抜粋）

■ すべてのプログラムが終了し、迎えに行ったときの表情が参加する前と違って、とても自信に満ちあふれていたことにとても驚きました。普段出会うことのない市外の友達もたくさんでき、とても嬉しそうでした。来年も参加したいとのことなので、是非またよろしく願います。

■ 学校以外での人間関係を通して、自分を成長させたいと考えたようで、今回参加させていただきました。親の方がドキドキした日々でしたが、閉塾式で男女関係なく仲間と別れを惜しむ姿を見て、ホッとしたと同時に、この塾に参加することができ良かったなと感じました。帰りの道中も、楽しかったこと大変だったこと、工夫したことなど、本当に話題が尽きず良い経験ができたのだなと思いました。本当にありがとうございました。

■ とても楽しかったようで、参加させてよかったと思いました。遠方からの参加だったので、帰りは一人で電車でしたが、塾で一緒だった人たちと途中まで帰ってきたよと、こっちの心配もなんのその。中学生になるとこんなに何でもできるようになるんだと感心しました。『知らない人と話せるかな』と心配していましたが、最終日はかなり遅くまでおしゃべりに花が咲いたようで、そんな事も良い思い出になったんじゃないかと思います。スタッフの皆様、あたたかくサポートしていただきありがとうございました。

■ ひらめき創造塾に我が子を参加させていただき、ありがとうございました。自主性に関してはまだまだの所はありますが、参加前に比べて自分の意見を持ってきちんと言葉で説明できる力はついたように思います。是非、来年も参加させたいと考えておりますので、どうかよろしく願います。

■ 開塾式に参加しました。子どもたちにプレゼン、ディベート体験をメインにしたプログラムを経験させたいという趣旨を聞き、とても共感しました。達成感と課題を掴み、来年もまた参加したいという娘を見て、参加できて良かったと思いました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。来年も是非参加させてください。

■ ひらめき塾のスタッフの方には大変お世話になりました。3泊4日、親から離れて困ったこともあったでしょうが、「楽しかった」と帰ってきました。参加した子供たちも多様であったようで、色々な人がいることが分かったようです。また、話をしている親が感じたことは、普段の生活ではあらかじめ準備され、過保護に育てていた気がしました。自分から進んで分からないことを聞く姿勢が大事かもしれません。